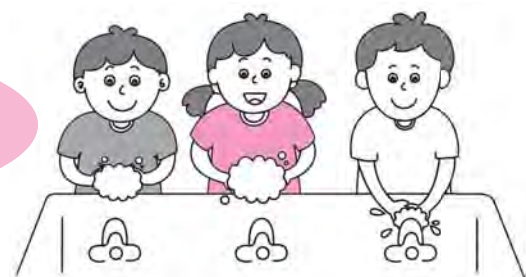


◆けがの防止／病気の予防



行動計画・行動指針	
学 校	安全教育の充実（発達段階に応じた学校全体での取組）
	感染症対策の推進
家 庭（地 域）	様々な遊びや活動の体験
	安全・安心に向けた環境づくり
	感染症の理解と予防に向けた生活習慣
行 政	けがの防止／病気の予防に関する啓発活動の推進
	安全・安心に遊び、学ぶことのできる環境整備

- 目指す子供の姿
- ・自他の危険を予測・回避することができる子供
 - ・けがや事故に遭ったときに適切な対処ができる子供
 - ・感染症への予防行動ができる子供
 - ・適切な生活リズムを身に付けることができる子供

子供を取り巻く現状

大人の意識・行動	子供の実態
・「万一の災害や事故に備えての対応について子供と話し合っている」割合が少ない ・「病気の予防のための手洗いなどの生活習慣について働きかけている」割合が少ない	・顔面や頭部のけがが増加している ・「すり傷や切り傷などのけがの時、自分で応急手当ができる」割合が増加している ・「火事や地震等がおきたときに、自分の身を守るために何をすればよいかよくわかる」割合が、学年があがるとともに減少している

具体的な取組例

- ・緊急時の対応が適切にできる組織づくりを強化する。
 - ・危機管理マニュアルを見直し、実効性を高める。
 - ・運動の前の準備運動の重要性を十分に認識するよう指導する。
 - ・交通安全に関し、繰り返し、学習の機会を設ける。
 - ・運動用具の点検を十分に行う。
 - ・事故や災害発生に伴う心のケアを充実する。
- ＜小学校低学年＞
- ・学校内での事故防止のためのルールについて理解するよう指導する。
 - ・自転車の安全な乗り方（ヘルメット着用を含む）と通学路の正しい歩行について理解するよう指導する。
- ＜小学校高学年＞
- ・不審者に遭遇した時の対処の仕方について理解するよう指導する。
 - ・事故とけがの予防について理解して、行動できるよう指導する。
- ＜中 学 校＞
- ・けがの状況を速やかに把握し、簡単な手当ができるよう指導する。
 - ・けがの予防と手当（止血や心肺蘇生法の方法など）について理解を深め、適切な行動を選択できるよう指導する。
 - ・自然災害の備えと対応、二次災害による傷害防止について理解するよう指導する。
- ・学校薬剤師の指導のもと、学校環境衛生検査の実施と学校環境衛生の整備を実践する。
 - ・学校医の指導のもと、感染症の流行状況や疾病の特徴などを把握し、予防及びまん延防止の対応を行う。
- ＜小学校低学年＞
- ・健康に過ごすため、うがい・手洗い等身体の清潔が必要であることを理解するよう指導する。
- ＜小学校高学年＞
- ・病気の予防の基礎について理解し、自ら生活リズムを整えるよう指導する。
- ＜中 学 校＞
- ・感染症の成り立ちと予防について理解して、進んで実践するよう指導する。
- ・自然の中で思い切り遊び、野外活動を体験する機会を増やす。
 - ・友達と屋外で遊ぶ習慣が身につくよう働きかける。
 - ・大人が先回りして危険回避しすぎないよう支援する。
- ・ヘルメット着用を含めた自転車の安全な利用や水泳・水遊び等、校外生活での事故防止と対応について教える。
 - ・登下校時等子供の安全を見守るボランティアに積極的に参加する。
 - ・AEDの使用を含めた心肺蘇生法についての救急講習会に参加する。
 - ・災害に備えた対応や命を守る行動について積極的に話し合う。
- ・地域の感染症情報の収集に努める。
 - ・感染症への予防行動や適切な生活リズムを習慣化する。
 - ・日頃から、手洗い・うがい・適切な食事や睡眠等により、身体の抵抗力を高める。
 - ・感染症の発生時には治療に努め、家庭で十分な休養をとるとともに、周囲への感染を予防する方法を教え、実践する。（手洗い・マスク着用・咳エチケット等）
 - ・麻しん風しんなどの定期予防接種は、計画的に適切な時期に受け、病気を予防する。
- ・けがの防止と手当に関する講習会や交通安全に関する講演会を開催し、その内容の充実を図る。
 - ・危機管理マニュアルを見直し、より実践的に充実する。
 - ・学校保健センターの貸出教材教具の整備や充実を図るとともに、啓発を強化する。
 - ・金沢市保健所や福祉健康センターと協力し、感染症に関する情報の早期把握、感染症の理解や予防方法の普及啓発に関する取組の充実を図る。
 - ・金沢市薬剤師会の協力による手洗い指導教室の充実を図る。
 - ・金沢市医師会と連携し、感染症に関する情報の迅速な提供を図る。
 - ・予防接種が受けやすい環境の整備を図る。
- ・金沢市薬剤師会と連携し、学校環境衛生検査を適切に実施し、学校環境衛生活動の充実を図る。
 - ・通学路、ウォーキングコースやサイクリングコースなどの安全点検・整備を図る。
 - ・広場の遊具などの安全点検・整備の充実を図る。
 - ・災害発生時の心のケアも含めた防災体制の充実を図る。